

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	精神障害リハビリテーション論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期 金曜2限	教室名	5校舎8階
担当教員	加藤 裕史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し援助場面で活用できる。 ②精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。 ③精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連について理解し、援助場面で活用できる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・受講態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新精神保健福祉士養成講座3 『精神障害リハビリテーション論』 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
様々なメディアで取り上げられる精神障害者関連の問題について積極的に関心を持ち、知る努力をすすめて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書的な知識に留まらず、様々な周辺知識を貪欲に吸収することを心がけてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションの理念と定義について説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの理念、権利の回復、生活環境への適応、技能の育成、自尊心の回復、環境面への介入			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーションについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読	
		各コマにおける授業予定	医学的リハ、職業的リハ、社会的リハ、教育的リハ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションの基本原則について説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読	
		各コマにおける授業予定	基本原則			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションとソーシャルワークとの関係について説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読およびテスト対策テスト対策	
		各コマにおける授業予定	障害とニーズ、個人への介入、環境への介入			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域及びリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義について説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読	
		各コマにおける授業予定	リカバリー概念、ストレングスモデル、地域を基盤とした精神障害リハビリテーションの意義			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションの対象について説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの対象になるもの		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	チームアプローチについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読およびテスト対策
		各コマにおける授業予定	多職種連携		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションのプロセスについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の終結と事後評価		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学的リハビリテーションプログラムについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	認知行動療法、行動療法、作業療法、健康自己管理のプログラム、依存症回復プログラム、デイケアプログラム、実施機関		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	職業的リハビリテーションプログラムについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読およびテスト対策
		各コマにおける授業予定	就労準備プログラム、援助付雇用プログラム、IPSモデル、復職支援プログラム、就労定着プログラム、実施機関		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的リハビリテーションプログラムについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	社会生活技能訓練、心理教育プログラム、WRAP、生活訓練プログラム、地域移行プログラム、実施機関		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育的リハビリテーションプログラムについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	特別支援教育プログラム、障害学生支援プログラム、実施機関		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族支援プログラムについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	家族心理教育、家族による家族支援プログラム、実施機関		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーションについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	ピアサポートグループとピア活動、ピアスタッフ、家族による家族支援、当事者プログラム		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	依存症のリハビリテーションについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	依存症リハビリテーションプログラム、ここまでの振り返りと総まとめ		